

TB's Biodiversity Initiatives

世のため
人のため
地球のため

トヨタ紡織グループの
生物多様性への取り組み



いま地球で起きている環境問題って？

豊かな自然環境と多様な生態系に恵まれた星——地球。この地球で近年さまざまな環境問題が深刻化し、私たちの生活に大きな影響を与えています。環境問題を自分ごととして捉え、解決に向けて一歩を踏み出すことが、次の世代によりよい地球を残すカギです。ともに持続可能な未来を築いていきましょう。

2050 Environmental Vision

すべてのステークホルダーのみなさまと一致団結して、子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な地球環境を目指します。



地球温暖化

海面上昇が示すSOS

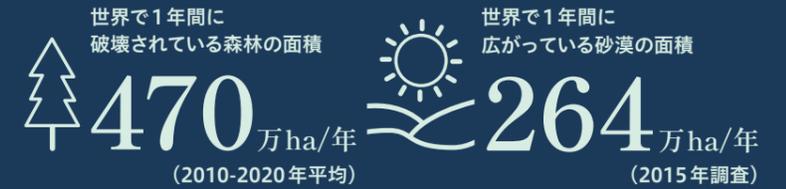
温暖化による氷河、氷床の融解や海水の膨張で世界の平均海面水位が上昇しています。海面上昇のスピードは2006年以降、1900年代比で約3倍に加速し、沿岸地域の人々へ大きな影響を与えています。



森林破壊

緑の消失がもたらす影響

乾燥地域では、世界の家畜の約50%が飼育され、栽培作物の約30%が特有の植物種として生息しています。農業の拡大、違法伐採により乾燥地域の砂漠化が進むことで多くの資源を失います。



海洋汚染

海の未来に迫る危機

使い捨てプラスチック製品や工業排水の流出により、海洋汚染が深刻化しています。海洋プラスチックごみの重量は、2050年までに、海の魚の総重量を超えてしまうと推測されています。



これらの環境問題は、
地球で暮らす多様な生物たちの未来を脅かしています。

目次

- 01 いま地球で起きている環境問題って？
- 03 私たちの生活にどんな影響があるの？
- 05 企業としてできることは何だろう？
- 07 活動報告
 - 07 温暖化抑制
 - 09 資源循環
 - 11 自然共生
 - 13 カーボンニュートラル環境センター
若手社員にインタビュー
 - 14 環境関連表彰・認証

編集方針

「TB's Biodiversity Initiatives」では、トヨタ紡織の環境活動を地域や学生のみなさん、当社で働く社員に向けて、よりわかりやすい形でお伝えるために発行しました。コーポレートサイトなどで掲載しているこれまでの実績や取り組みとも合わせてお読みください。環境問題は日常生活に密接に関わることから、本レポートを通じて読者のみなさんには、環境のためにできることを考えるきっかけにしたいと考えています。また、トヨタ紡織が取り組んでいるグローバルな環境活動を身近に感じてもらうことを目指しています。



表紙イラスト
トヨタ紡織グローバル本社

私たちの生活に どんな影響があるの？

生物多様性は私たちの身近な暮らしにつながっています

生物多様性とは？

地球上の生物が互に関わり合いながら生きていること。
これは単に動植物の数が多いということではなく、
同じ種の中でもさまざまな個性があること、
環境と生物が相互に関わりあい、
多様な関係を形作っているということでもあります。
私たちは生態系から、多くの恵みを受け取っています。



供給サービス

人間の生活に必要な食料や水、木材、繊維、医薬品などの資源を提供する機能。

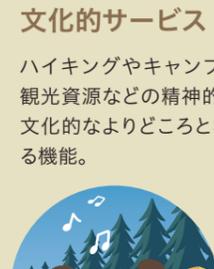
基盤サービス

豊かな土壌や栄養循環、光合成など人間を含むすべての生物の生存基盤を提供する機能。



調整サービス

気温や湿度、水質の保持や災害防止など自然が環境を調整し、私たちの生活を守る機能。



文化的サービス

ハイキングやキャンプ、観光資源などの精神的、文化的なよりどころとなる機能。

生態系サービスとは？

私たちの生活を豊かにする自然の恩恵全般を指します。
上の4つのサービスに分類され、
生活を支える基盤であるとともに、
健康や幸せに寄与する重要な要素です。

頻発する自然災害

異常気象とは「30年に1回以下で発生する現象」と定義づけられていました。しかし、近年では大規模な災害が頻発し、もはやそれらの災害は「異常」と言えなくなってきました。



きれいな水が不足する

気候変動のような自然要因と、開発や人口増加のような人為的要因により水不足が進んでいます。さらに、浄化機能を持つ植物や微生物が減少し、清潔な水の確保が難しくなっています。



私たちの身近にも脅威が迫る

生物多様性が損なわれると、多くの生態系サービスが失われていきます。
気候変動の影響、過剰な資源利用などにより、
今、私たちの生活は脅威にさらされています。
このままでは私たちの暮らしはどうなるのでしょうか？



感染症リスクが高まる

気候変動や外来種移入などによって動植物の生息地が変わり、人間と野生動物の距離が近づきます。ウイルスを媒介する害虫が増えたり、拡散したりする可能性が高まっています。



農産物収穫が減る

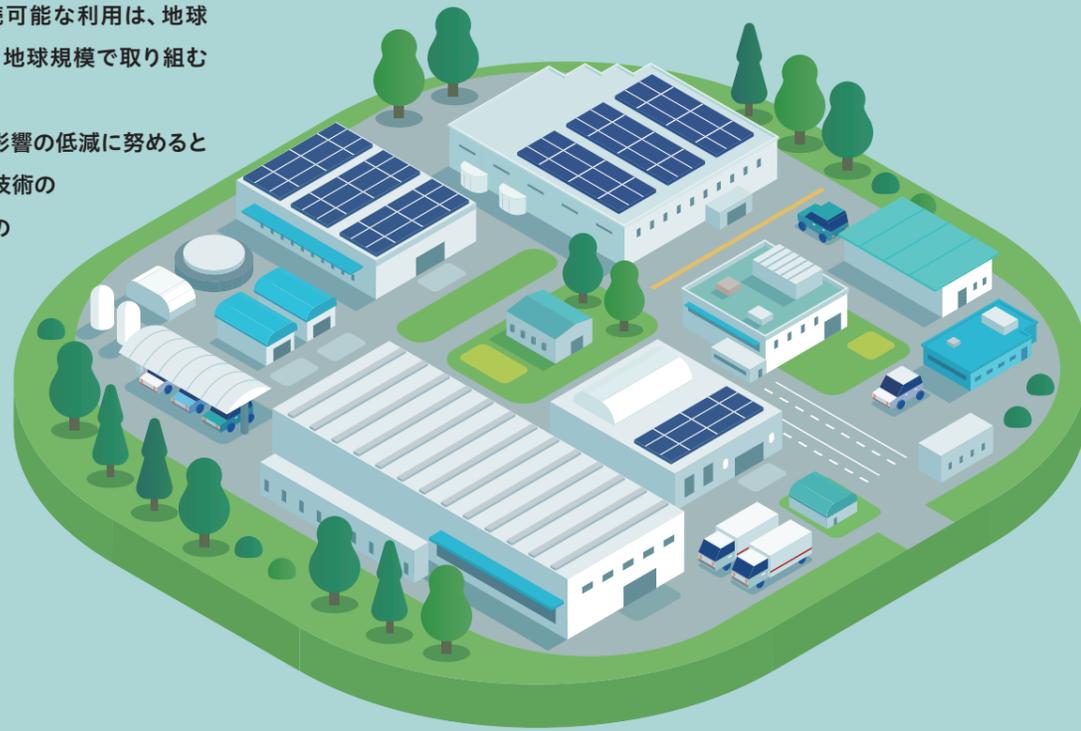
農産物は自然の恵みの最たるものです。作物が育ちにくい猛暑や冷夏、受粉を媒介する蜂の減少、農地への災害、鳥獣食害の増加……。どれも人間の生存にかかわる大きな問題です。

企業として できることは何だろうか？

生物多様性の保全と自然資源の持続可能な利用は、地球温暖化防止(気候変動対策)とともに、地球規模で取り組むべき重要な課題であると考えています。
事業活動全体で生物多様性に及ぼす影響の低減に努めるとともに、生物多様性保全に資する環境技術の可能性を追求し、自然と共生する社会の実現に貢献します。

世のため人のため 地球のため

創業者 豊田佐吉の精神を受け継ぎ、本業を通じて社会課題の解決に取り組めます。



2050年環境ビジョン

ビジョン

すべてのステークホルダーのみなさまと一致団結して、子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な地球環境を目指します。

重点取り組み



チャレンジ6

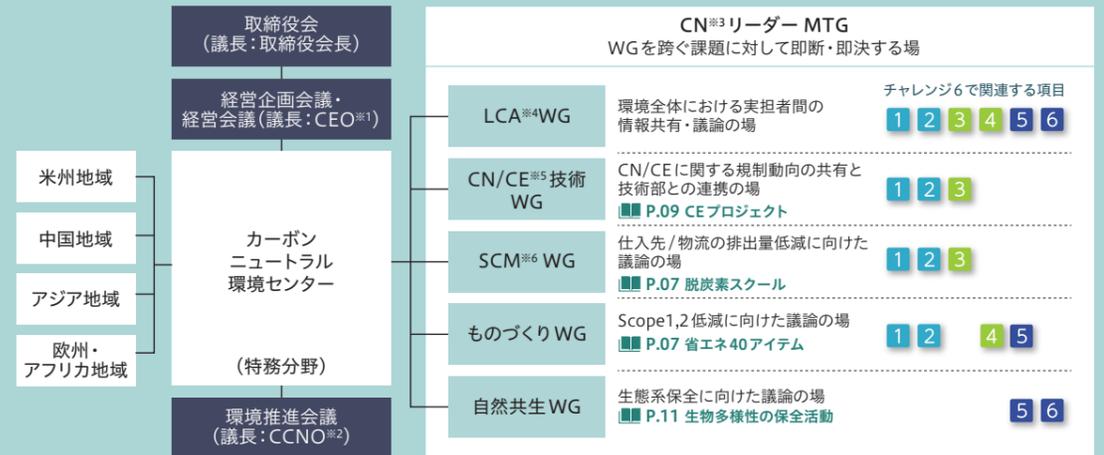
- | 温暖化抑制 | |
|----------------------------------|---------------|
| 1 ライフサイクル GHGネットゼロ ^{※1} | 2 工場 GHGネットゼロ |
| 資源循環 | |
| 3 持続可能な資源活用 | 4 廃棄物 ミニマム化 |
| 自然共生 | |
| 5 水資源インパクト ミニマム化 | 6 自然資本 保全・再生化 |

※1 Greenhouse Gas(温室効果ガス)の排出量を「正味ゼロ」にすること

どのような関わり方をしているの？

全社で取り組む体制を固めています

環境関連業務を担う部署であるカーボンニュートラル環境センターがCEO直下にあることで、環境に関する対応、課題や対策、進捗をタイムリーに経営陣に報告し、判断につなげられる体制を整えています。また、グローバルの各拠点や各機能部署、開発部署と直接連携できる横断的なワーキンググループを構築し、課題の検討や業務へのスピーディな落とし込みを実現しています。



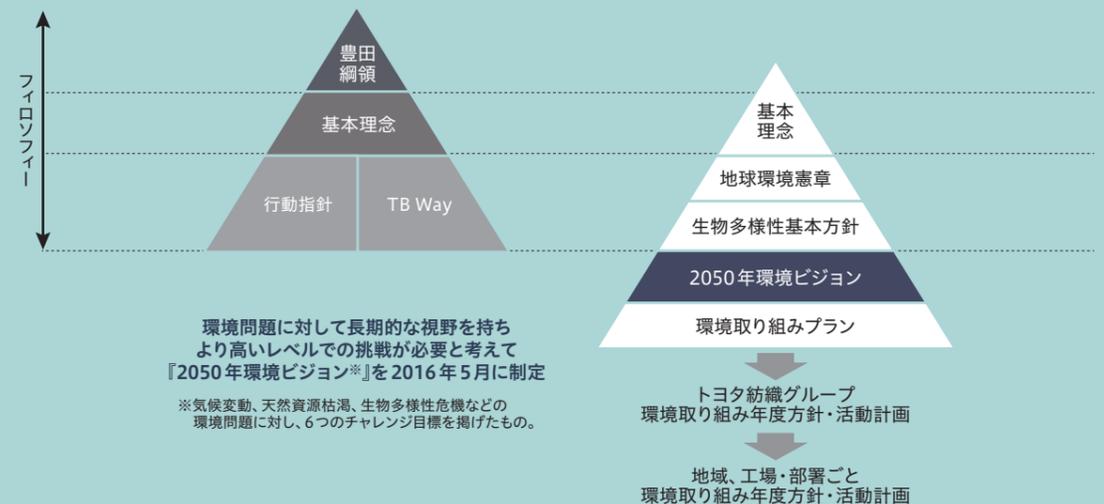
※1 Chief Executive Officer(最高経営責任者)
 ※2 Chief Carbon Neutral Officer(最高カーボンニュートラル責任者)
 ※3 Carbon Neutral(カーボンニュートラル)。二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量と吸収量を差し引きゼロにすること。
 ※4 Life Cycle Assessment(ライフサイクルアセスメント)。製品が作られてから廃棄されるまでに引き起こされる環境への影響を数字やデータで評価する手法のこと。
 ※5 Circular Economy(サーキュラーエコノミー)。これまでの「作る・使う・捨てる」という経済システムから脱却し、資源を効率的に循環させる経済システムのこと。
 ※6 Supply Chain Management(サプライチェーンマネジメント)。原材料の調達から消費者に商品が届くまでの流れを最適化するための経営管理手法のこと。

どういった考え方のもとで取り組みを進めているの？

重点取り組みとして、2050年へ向けた計画を立てています

トヨタ紡織では、環境の取り組みを以下のような体系に整理して取り組んでいます。基本理念を根幹に、明確な方針とビジョンを定め、5年ごとに取り組みプランを策定し、地域、工場・部署ごとに具体的な活動計画を立てて実行しています。各活動の進捗状況を定期的に評価し、必要に応じて改善策を講じていくことで着実に結果につなげています。

トヨタ紡織グループの環境取り組み体系



温暖化抑制



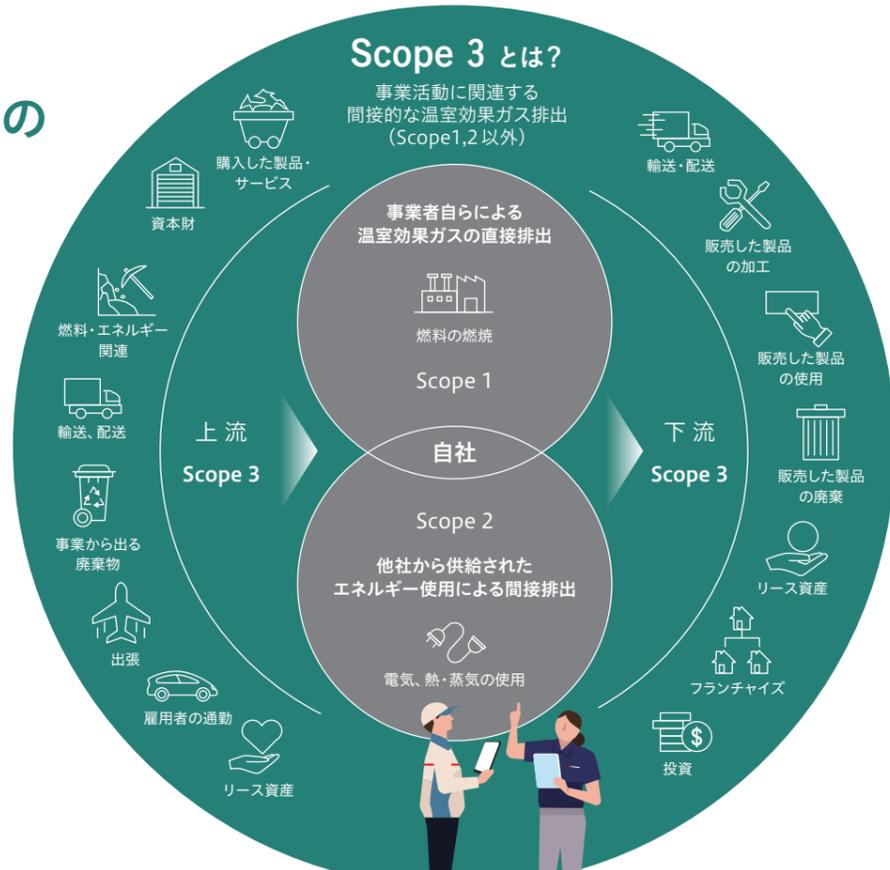
気候変動に対応するため、エネルギーを減らす、再生可能エネルギーを使うの両面から温暖化抑制の取り組みを進めています。トヨタ紡織だけでなく、サプライチェーン全体で協力し合いながら温室効果ガスの排出量削減に取り組むことが、企業として果たすべき責任であると考えています。



サプライチェーンへの環境啓発活動

トヨタ紡織仕入先協力会 Sunshine 主催脱炭素スクール

仕入先協力会「Sunshine」が主催する「脱炭素スクール」を2022年度から実施しています。サプライチェーン戦略企画部が中心として社員や専門家が講師となり、カーボンニュートラルに長く取り組める人材の育成に取り組んでいます。工場で行っている省エネ事例を実際に見て学ぶことができます。



スクールのスケジュール

第1期 Scope1 について	第2期 Scope2 について	第3期 2024年 8月	Scope3について 9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月
		活動開始 CN最新 動向共有	自社の 状況を 把握	省エネ 手法を 学ぶ	目標設定、 計画	トヨタ紡織 工場見学	削減計画の 組み立て	成果発表

トヨタ紡織省エネ40アイテム

工場内の工程、設備の省エネを推進

設備改善、運用改善でできる省エネ活動40項目をリストアップ。それらをトヨタ紡織省エネ40アイテムと呼び、グローバル全拠点で取りこぼさないようやり切る取り組みを進めています。実は私たちの暮らしにも活かせるものが多いです。

できることからひとつずつ 省エネに向けた取り組み

- 使わないときはこまめに電源OFF
- LED電灯を使おう
- 空調のフィルター掃除で効果アップ
- 熱源設備の断熱・保温
- 断熱素材で冷房・暖房の節約
- 省エネ製品に取り換え

工場 GHG ネットゼロ | 環境 | サステナビリティ | トヨタ紡織株式会社

グローバルで再生可能エネルギー導入を促進

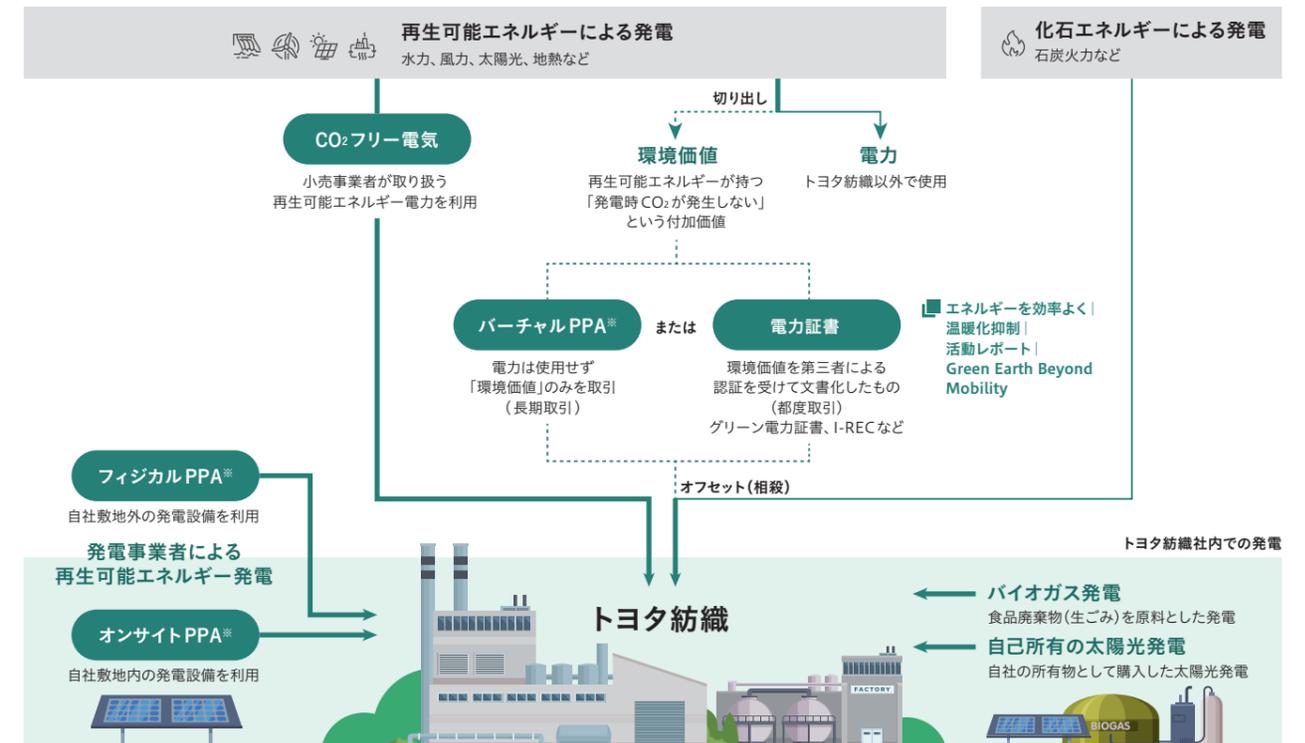
さまざまな再生可能エネルギーを利用

私たちは一般家庭の約10万倍以上のエネルギーを使っています。エネルギー消費自体を少なくすることはもちろんですが、使用するエネルギーを再生可能エネルギーに切り替える取り組みも同時に進めています。太陽光

発電パネルの設置や社外で発電された再生可能エネルギーの環境価値を購入するなど、さまざまな方法があります。また、さまざまな再生可能エネルギーを組み合わせることで、環境負荷の小さいエネルギーを安定して調達することを目指しています。

トヨタ紡織での再生可能エネルギー導入推進活動

→ 電力+環境価値 → 電力 → 環境価値



* Power Purchase Agreement 電力会社と需要家(電気を使う人・団体)が結ぶ長期の電力購入契約

カーボンニュートラル対応製品の拡大

「ケナフ」を利用した製品開発

ケナフは、針葉樹の約7倍ものCO₂を吸収する植物です。自動車のさまざまな部品にケナフ製の基材を利用しています。開発したケナフ基材は石油由来製品より軽いため、自動車の燃費を抑えることもできます。

ドアトリム



持続可能な資源活用 | 環境 | サステナビリティ | トヨタ紡織株式会社

FCアシスト自転車

次世代の動力として注目される燃料電池 (FC) を活用した電動自転車を開発しました。FCは水素と酸素が結びついて発電し、水だけを排出します。小型化を追求し、自転車のような小型モビリティに搭載できる水素発電システムを実現しました。



水素発電 | ハイドロジェンパワーシステム | 製品技術 | 技術開発・イノベーション | トヨタ紡織株式会社

活動担当者の思い

中国拠点の3割が100%再エネ利用を達成

豊田紡織(中国) リュウケツ 劉傑



中国地域では、積極的に導入した太陽光パネルからの発電で年間電力使用量の約20%をまかなっています。さらに発電時にCO₂を排出しないグリーン電力を利用することで、2024年度は中国地域13社中4社が再生可能エネルギー利用率100%を達成できました。地域内の拠点すべてが達成できるよう、CO₂排出量低減への貢献を続けていきます。

資源循環



天然資源枯渇に対応するため、資源循環の取り組みを進めています。廃棄物をより少なく、リサイクル材料をより多くしてサーキュラーエコノミーの輪を確立することが重要です。もちろん一社だけでは限界がありますが、自動車業界全体で実現に向けて取り組んでいきます。



バイオガス発電の取り組み

社食残飯を電力にも、肥料にも

廃棄物の排出はものづくりの現場からだけではありません。例えば、社員食堂から出る残飯があります。いくつかの拠点では、残飯を発酵させて得られるバイオガスを発電に利用し、エネルギーとして有効活用しています。さらに、発酵処理で生成される液肥を近隣の農家や学校に提供することで、地域への貢献にもつなげています。液肥で育てた野菜の一部は再び社員食堂で提供されます。

気候変動対策と食品ロス対策に挑む——
バイオガス発電 | Team Breakthrough

活動担当者の思い

バイオガス発電を子どもたちの未来へ

トヨタ紡織アジア
サンベツチ ロンサティット
Sanpetch Rongsathid

バイオガスシステムを使うことでサーキュラーエコノミーの実現に近づいていると実感しています。今後は注力してきた取り組みを環境教育の場で活用することで、地域社会に貢献することを目指します。



環境省、内閣府の2つのサーキュラーエコノミープロジェクトに参加

トヨタ紡織が実証プロジェクトに参画

トヨタ紡織では欧州 ELV 規則^{*1}などに対応すべく、産官学の取り組みに参画し、2030年までに再生材適用のための技術確立と量の確保に取り組んでいます。自動車部品の再生

材利用の拡大を目指すとともに、静動脈^{*2}一となった再生材利用拡大を目指し、自動車産業のサーキュラーエコノミー実現に向けて貢献していきます。

^{*1} 自動車廃棄物を削減し、自動車に関わる産業の環境負荷を軽減することを目的とした規則。

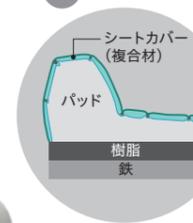
^{*2} 経済活動を動物の血液循環に例えた呼称であり、資源を加工して製品などを生産する産業を「動脈産業」、使い終わった製品を集め、再販売、再加工などを通して、再び社会に流通させる産業を「静脈産業」という

環境ラベルとは？



環境に配慮された製品につけられるラベルです。環境ラベルのついた製品を買うことが未来への第一歩になります。身近なものに上のようなマークが表示されているかどうか、ぜひ探してみてください。

旧 従来のシート



圧縮・粉砕し 焼却・埋め立て

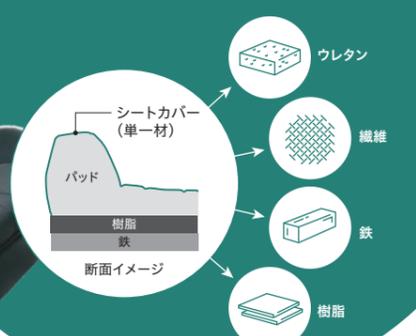
解体しにくい要因
●多岐にわたる材料を使用
●さまざまな固定方法
●強固に固定

これまでの開発と視点を考える

新 易解体構造シート

解体しやすく、材料ごとにリサイクルできる！

- 素材をできるだけ統一(モノマテリアル化)
- 快適さ、安全性を保ったまま解体しやすく改善



どれくらい解体に時間をかけてよいか？
取り出すべき材料は何か？

もっとリサイクルするために

易解体構造、モノマテリアル化

現在、自動車のシートはお客様に安全性と快適性を提供するため、さまざまな材料から構成されています。そのため単一素材ごとに効率的に解体できず、車両と一緒にプレス、破碎されており、破碎後に出る ASR^{※3}(自動車破碎残さ)の多くが焼却または埋め立てられています。これを資源としてリサイクルするために、解体しやすいシートの開発を進めています。モノマテリアル化というのは複合材を単一材もしくは同じ方法でリサイクルできる材料にまとめていくことです。

※3 Automobile Shredder Residue(自動車破碎残さ)

廃材の有効活用

アップサイクル製品の販売

アップサイクルとは元の素材をそのまま生かし、より価値を高める再利用の新しい形です。トヨタ紡織では、生産現場で捨てられるものにもう一度光を当てるといった想いを込めて RE:TERRACE(リテラス)と名づけ、THE CROWN 愛知高辻様で販売いただいています。



販売している製品

地域スポーツ振興に貢献

ドアトリム生地、シート生地の端材から、障がい者スポーツ「ポッチャ」のボールを作りました。ボールは高岡工場がある大島地区の自治会に寄付。自治会へは環境取り組みの講話も実施し、地域へ環境啓発も行っています。



ポッチャ大会の様子

アップサイクル活動担当者の思い

アップサイクル製品をみなさまへ

アップサイクル活動担当者
総務部広報室 林 健吾

アップサイクル製品は、環境取り組みの中でも一般の方の目に入りやすいものです。ディーラー向けに、ヒノキ間伐材と高級車表皮でできたバッグスタンド制作に関わったこともあり、今後もアップサイクル製品を広げていきたいと思っています。



ドアシートクッション
©中日ドラゴンズ

廃棄物ミニマム化 | 環境 | サステナビリティ | トヨタ紡織株式会社

バッグスタンド

ポッチャ活動担当者の思い

廃棄物に新しい価値をポッチャボール誕生秘話

ポッチャ活動担当者
高岡工務部 熊澤 幸宏

廃棄される素材の活用方法を考えていた矢先、大島地区でポッチャが盛んなことを知ったのが製作のきっかけです。製作当初はまっすぐ転がらず、公式球を徹底研究しました。そのかきもあり自治会のみなさまに喜んでいただけるものになりました。

大島地区自治会の思い

いつでもポッチャを楽しめる喜び

大島地区自治会代表

ボールがなかったときは、ポッチャ大会のために豊田市までボールを借りに行くこともありましたが、ボールは手づくりで、どれも公式球に引けをとらない素晴らしいものです。今では大会のとき以外も毎日ポッチャを楽しめるようになり、とても感謝しています。



自然共生



生物多様性危機に対応するため、自然共生の取り組みを進めています。一つひとつは小さな活動でも、連携と継続が大きな力になると信じています。社員だけでなく家族や地域のみなさまとともに、豊かな自然環境を子どもたちに引き継ぐため教育や啓発活動にも力を入れています。



生物多様性の保全活動に参画

外来種駆除

外来種の駆除活動は本来ある自然を守るために大切な活動です。多治見技術センターでは施設内の調整池で繁殖するアカミミガメを駆除しています。アカミミガメは感染症を引き起こすサルモネラ菌を媒介することでも知られている条件付特定外来生物です。また、オールトヨタグリーンウェブプロジェクトに参加し、グループ会社一丸となって特定外来生物である、オオキンケイギクの駆除を実施しています。

■ オールトヨタグリーンウェブプロジェクト公式サイト



駆除後

オオキンケイギク

オオキンケイギク駆除活動

震にかかるとアカミミガメ

双嶋プロジェクト

双嶋プロジェクトとは

双嶋プロジェクトは汐川干潟の清掃活動を中心として、さまざまな生物多様性活動を展開するプロジェクトです。豊橋工場が近接する汐川干潟は中部地方最大級の干潟で、シギをはじめとする渡り鳥の重要な飛来地です。社員が地域の環境に目を向けるきっかけづくりになっています。



マイクロプラスチック回収の様子



清掃活動の様子

鳴とトヨタ紡織の関係

プロジェクトのロゴマークは、創業当初に、アジアを中心とした国外へ輸出されていた製品につけられていた「双嶋」の商標をリデザインしたものです。シギは干潟に飛来する渡り鳥で、新たな生物多様性活動のシンボルとしてふさわしいものと考え、採用しました。

マイクロプラスチック回収活動

マイクロプラスチックによる海洋汚染は、近年特に注目されている環境課題の1つです。海鳥の9割が誤飲しているという報告もあり、トヨタ紡織は多数の樹脂製品を扱う自動車部品メーカーとしてマイクロプラスチック回収の取り組みを始めました。

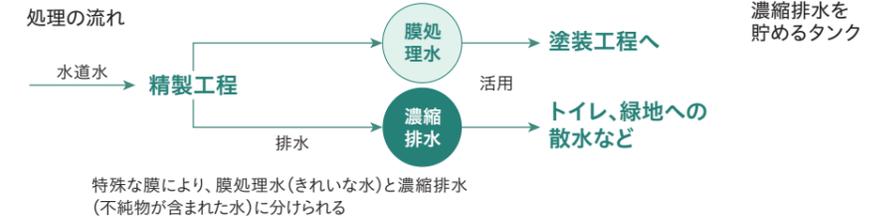
「双嶋」の商標



排水のリサイクル活動

工程排水の有効活用

塗装工程では不純物の少ない水を使用する必要があります。中国の拠点では、水道水を特殊な膜で精製処理し、塗装工程に利用しています。精製後に発生する不純物が含まれた水(濃縮排水)は安全性を確認したうえで、トイレ洗浄や緑地への散水などに有効活用しています。



オハイオ川保全

トヨタ紡織アメリカでは非政府組織(NGO)と協力し、環境保全に取り組んでいます。1.62km²の森林保全やオハイオ川2.19kmの護岸、湿地修復を予定し、寄付や従業員によるボランティア活動も実施しています。



オハイオ川保全活動の様子

サメの放流の様子

海のいきもの保全

トヨタ紡織アジアでは「地域コミュニティとの環境保護活動」をキーワードに、海岸清掃を実施しています。2023年は海洋生態系の保護を目的に、ごみ袋13袋分のごみ回収と、50匹のサメを放流しました。

活動担当者の思い

地域の環境を守り家族と楽しめる場所へ

トヨタ紡織アメリカ
ライアン ハント
Ryan Hunt

オハイオ川保全はNGOや地元企業と連携して行っている、近隣地域への貢献にもつながるプロジェクトです。多くの社員の通勤ルートでもあり、社員が家族とハイキングなどを楽しめるよう、これからも身近な自然を守る活動を続けていきます。

クリーン活動 亀の子隊に参加

豊橋工場近隣地域である愛知県田原市では、非営利組織(NPO)「亀の子隊」の活動に賛同し、海岸の清掃活動をしています。周辺はウミガメの産卵場所になっており、生態系保護にも役立っています。



亀の子隊参加の様子

生態系保全のための植樹

活動担当者の思い

家や職場でも自然とふれあえる

トヨタ紡織フランス
ソフィー ブラム
Sophie Bramme

2021年、野鳥保護団体LPOからTBFが「LPO Sanctuary」に認定されました。保護区になったことで、自宅や職場でも植樹や草花の整備、巣箱の設置など生態系保全活動に取り組むことができ、自然とつながることができました。毎年、私たちは植物の成長やさまざまな生き物の来訪を楽しみにしています。

■ 自然資本保全・再生化 | 環境 | サステナビリティ | トヨタ紡織株式会社

カーボン ニュートラル 環境センター 若手社員にインタビュー



入社2年目
たかはしひろと
高橋 寛斗

入社2年目
いとう にか
伊藤 仁華



皮革素材としても
注目される
サボテンを調査



先輩社員と
レガッタ大会
に参加



中学校への
出前授業



地域の小学校での
間伐材工作教室

Q 学生時代の研究が現在の仕事で活かせていると感じることを教えてください。

大学、大学院では多くの環境課題について学んできました。今の仕事に役立っていることは大きく2つあります。1つは、食品廃棄物となるカニ殻や貝殻を河川の水と混ぜることで、飲料水に変えるという研究です。トヨタ紡織のチャレンジ6にも水に関する目標があり、重要な問題について学んでいたと感じます。もう1つは、気温の上昇と異常気象の関係性について学んだことです。産業革命以前より気温が1.5°C上昇すると、10年に1度クラスの大雨が従来の1.5倍発生しやすくなります。2024年には世界全体の気温が産業革命以前と比べて1.55°C上昇したとWMO(世界気象機関)が発表しました。今は温室効果ガス(GHG)排出量算定業務に関わっていますが、このようなつながりを知っているからこそ、地球温暖化の抑制は世界中で対応すべき課題だという使命感をもって業務に取り組んでいます。

Q 入社してからこれまでに関わってきた業務について教えてください。また、その業務を通して心境の変化など教えてください。

入社1年目は主にオールトヨタの外来種駆除活動や社内外の環境啓発・教育活動に従事しました。実を言うと、カーボンニュートラル環境センターに配属される前は環境に対して、自分から何か行動してみようと思うことはあまりありませんでした。しかし、実際に活動に参加したり、環境活動を自ら社員や中学生などに発信するなかで生物多様性や環境保全の重要性を学び、積極的に参加したいという気持ちが芽生えました。今年はこの「TB's Biodiversity Initiatives」の発行やGHG排出量管理システムの開発にも取り組んでいます。同じグループの仲間は野鳥が好きで、干潟清掃などの際にはいつもは見られないとてもワクワクした顔でカメラを構える姿を見るのがひそかな楽しみになっています。周囲の仲間の熱意に触れるなかで、私も熱中できることを見つけ、自信を持って未来へ伝えていけるようになりたいと考えています。みなさんも機会があればぜひ、生物多様性保全活動に参加してほしいです。

未踏の領域に挑み、次の世代に美しい地球環境を受け継ぐ

環境問題というのは、昨日、今日の行動の結果が10年、20年後に返ってくるという、今を生きる私たちに課された重要な課題であると考えています。私たちの生活、企業活動は、自然からの恵みによって成り立っています。環境への取り組みを続けていくことは、持続可能な成長に不可欠な要素なのです。

若手社員のみなさんには、環境保全につながると思ったことには自信をもって果敢にチャレンジし続けてほしいと思っています。環境問題解決に向けた取り組みには、まだ誰も成し遂げることがないようなことも多くあります。若いみなさんが率先して挑戦することで、次の世代の社員にも環境を大切に作る企業風土が根差していくと信じています。そうした姿勢が共感を呼び、誰もに「好きだな、トヨタ紡織」と言ってもらえるような企業になっていくのだと考えています。



カーボン
ニュートラル
環境センター CCNO
すずむらひろみ
鈴村 浩己

2023~2024.11 環境関連 表彰・認証



2023

- 1月 刈谷グローバル本社が住宅・建築SDGs推進センターから「第1回SDGs建築賞」を受賞
- 2月 SKオートインテリアがIndustrial Estate Authority of Thailandから「Green Star Award」を受賞
- 5月 豊田中央研究所と共同開発した高耐衝撃プラスチックが「令和5年度 文部科学大臣表彰 科学技術賞(開発部門)」を受賞
トヨタ紡織アルゼンチンがToyota Latin America and Caribbeanから「Best Performance Supplier Award」を受賞
TBカワシマがダイハツ工業(株)取引先表彰で「カーボンニュートラル活動賞」を受賞
- 7月 トヨタ紡織滋賀が日本インダストリアル・エンジニアリング協会から「日本IE文献賞」を受賞(画像01)
- 8月 豊田紡織天津が開発区ボランティアサービスセンターから、環境保護含む社会貢献活動が評価され栄誉旗授与
- 9月 愛知県トラック協会主催第12回省エネ走行競技会でトヨタ紡織社員が優勝
- 10月 トヨタ紡織カナダがWoolwich Environmental Enhancement Committeeから「CARES賞」を受賞
- 12月 豊田中央研究所と共同開発した高耐衝撃プラスチックが「第37回中日産業技術賞」を受賞(画像02)



2024

- 1月 刈谷グローバル本社が「2023年度(令和5年度)省エネ大賞」で「省エネルギーセンター会長賞」を受賞(画像03)
- 2月 CDP2023「気候変動」「水セキュリティ」部門で最高評価を獲得(画像04)
日本自動車会議所と日刊自動車新聞社共催の「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」でグッドパートナーシップ事業に選出
- 3月 トヨタ紡織アジアがToyota Daihatsu Engineering & Manufacturingから「環境賞」を受賞
紡織オートモーティブ(タイランド)がToyota Daihatsu Engineering & Manufacturingから「TCC ベストパフォーマンス賞」を受賞(画像05)
日本政策投資銀行から「DBJ 環境格付」で最高ランクの格付けを取得
- 4月 刈谷グローバル本社が建築設備技術者協会から「第12回カーボンニュートラル大賞」を受賞
トヨタ紡織ヨーロッパがToyota Motor Europeサプライヤー表彰で金賞と銅賞を受賞(画像06)
トヨタ紡織ブラジルがToyota Latin America and Caribbeanから「Outstanding Supplier Award」を受賞
天津英泰が中国品質認証センターから「大型活動カーボンニュートラル認証」を取得
- 5月 TBカワシマがダイハツ工業から「カーボンニュートラル活動賞」2年連続受賞(画像07)
- 9月 トヨタ紡織ゲートウェイがMinistry of Industry of Thailandから「ECO WORLD CLASS Promotion Company Award」銀賞を受賞
- 10月 多治見技術センターが環境省の「自然共生サイト」に認定(画像08)
- 11月 愛知県の「あいち生物多様性企業認証」で優良認証を取得(画像09)



※ 一部抜粋
※ 特に会社名記載がない場合はトヨタ紡織単体の実績



<https://www.toyota-boshoku.com>

トヨタ紡織グループの環境への取り組みの詳細は
こちらでもご紹介しています

<https://www.toyota-boshoku.com/jp/sustainability/environment/>

環境データはこちらからご覧ください

会社別環境データ

<https://www.toyota-boshoku.com/jp/sustainability/environment/data/area/>

事業所別環境データ(日本)

<https://www.toyota-boshoku.com/jp/sustainability/environment/data/office/>

カテゴリ別環境データ

<https://www.toyota-boshoku.com/jp/sustainability/environment/data/category/>

ESG KPI 目標と実績

<https://www.toyota-boshoku.com/jp/sustainability/management/kpi/>



トヨタ紡織
環境取り組み



会社別
環境データ



事業所別
環境データ(日本)



カテゴリ別
環境データ



ESG KPI
目標と実績

会社概要

社名	トヨタ紡織株式会社
事業内容	1. 内装システムサプライヤー事業と内装製品の製造および販売 2. 自動車用フィルターおよびパワートレーン機器部品の製造および販売 3. その他自動車関連部品の製造および販売 4. 繊維関連製品の製造および販売
代表取締役 会長	豊田 周平
代表取締役 社長	白柳 正義
資本金	84 億円
創業	1918 年(大正 7 年)
設立	1950 年(昭和 25 年)
所在地	〒448-8651 愛知県刈谷市豊田町 1 丁目 1 番地